

昭和十一年十一月十日

水曜会 講演 湯川秀樹

No. 1

(上)

近代物理学の常識
 湯川秀樹の心く最近三十年の間に物理学は
 のり〜取学問も比較出来ぬ。標取スゴトで
 く〜進歩を致し〜。二十世紀の物理学
 と十九世紀の物理学の移りかえり
 とある。昭和十年代の物理学は廿年代の
 物理学と随分と相違がある。
 二つの方面から見て今日迄の物理学は
 一つは力学の方面から見て今日迄の物理学は
 一つは電磁気学の方面から見て今日迄の物理学は
 一つは原子核物理学の方面から見て今日迄の物理学は

常識から遠くかけ下るに類い欠乏するところ
 あり。どうせ進歩の物理学といふものは
 常識の範囲を越えては常識の模範に
 ない。近頃の物理学はその為か
 第一級級が対象がありふに
 豊富なり。第二級級の
 第二級の級級の
 物理学の考へるべき善通の
 こと